

ドボク管理 設計部(農業部門)

異業種からの転職②

他の業種から転職してきた社員の話聞く「異業種からの転職」第2回目です。インタビュー形式で紹介します。

聞き手：まずは最終学歴の専門性をお聞かせください。

設計部 M：経済学専攻です。土木といえば理系分野ですが思いつきり文系分野です。

聞き手：前職をお聞かせください。

設計部 M：塾講師です。大学受験を目指す高校生の指導を行っていました。

聞き手：転職のきっかけは？

設計部 M：家庭をもった中で、昼夜逆転の生活を今後も続けていくことに抵抗がありました。塾の生徒への指導理念に共感できない部分があり、会社の社員評価も公平とはいえないものがありました。

聞き手：転職するにあたり紹介者もしくは紹介機関は？

設計部 M：当時、妻の叔父が札幌支店に居りまして、その関係で紹介されました。

聞き手：当社に決めた理由はなんですか？

設計部 M：30才を過ぎた土木素人を、受け入れてくれると聞いた会社として懐の深さでしょうか。

聞き手：入社して何年になりますか？

設計部 M：ちょうど2年になりました。



デスクワーク



最初の仕事は台風の災害現場



河川横断工の設計に伴う現況調査



聞き手：入社して最初にした仕事を覚えていますか？

設計部 M：災害(北海道に台風が連続上陸した)の現場です。何も分からずひたすら赤白ポールをもって倒木などで足場の悪い現場を歩き回っていました。ちょうどリオ五輪の後でした。

聞き手：入社して最初に戸惑ったことはなんですか？

設計部 M：休み時間がちゃんと休み時間になっていること。(TVを見る、卓球をする、unoをするなど本当に自由)。生徒が出入りする塾では、休み時間でも周囲の視線を考えての過ごし方が当たり前でした。次に、作業着姿の自分。(スーツを着ていない)上役との距離が近いこと。(物理的にも、精神的にも)

聞き手：入社して仕事上で大変なところは？

設計部 M：土木分野の基礎知識がないことです。

設計基準書を見て、分からない部分などを調べようとしても、土木分野自体が人気が高くない分野だからか、ググったところで有益な情報が出てきません。塾講師時代は、まだまだ不備があるなど感じていた学校教育の分野が、土木分野と比べたらいかに学習体系が整理されていたかが分かりました。

聞き手：入社後、仕事以外で記憶に残っていることは？

設計部 M：飲み会です。とにかく飲み会が多かった。前職の10倍以上は街に出ている気がします。

聞き手：前職(職歴)が活かしていることはありますか？

設計部 M：数学です。三角関数や微積分など、今までは単なる生徒に教えるための知識だったのが、実業務として用排水路などの設計に活用されています。

聞き手：現在の部署(仕事)はどこですか？

設計部 M：設計部で農業部門を担当しています。今はパイプラインの設計業務に携わっています。

聞き手：現在仕事上で楽しいことがあれば教えてください。

設計部 M：人に恵まれたなと感じています。分からない部分も多い中でも、暖かく成長を見守ってくれる諸先輩方がこの会社にはたくさんいます。そのおかげで楽しく仕事できています。

聞き手：楽しくないことや不満に思っていることは？

設計部 M：勉強する時間でなく、勉強するための下調べに時間がかかり過ぎることです。

聞き手：これからやってみたい仕事はありますか？

設計部 M：農業部門にあたるもので、経験していないものは一通りやりたいです。たとえば、水田のほ場整備、肥培かんがい施設、農道整備、水利施設の保全事業など。

聞き手：この先の目標があれば

設計部 M：資格でいえば、技術士、測量士の合格が目標です。管理技術者や主担当となって、仕事を回せる人材にならないとみえないものもあって思っています。まずはそこを目指したいと思っています。

聞き手：本日はお疲れさまでした。(聞き手/本誌編集長)